観光施設のサービス向上

写真：平成29年8月撮影

他県の施設と連携し、施設の魅力が向上

■磐越道を利用した生物の交換

出典：マリンピア日本海提供

出典：アクアマリンふくしま提供

出典：マリンピア日本海提供

マリンピア友好館提携
福島の施設と

新潟市水族館「マリンピア日本海」はこのほど、福島県いわき市の海洋科学館「アクアマリンふくしま」と友好館提携することを決めた。希少淡水魚調査についての情報交換や技術交流などを行うことで、両施設がより充実することを目指す。

同水族館が友好館提携をするのは、一九九六年の神戸市立須磨海浜水族園以来で二館目。二十三日には、鈴木倫明・マリンピア日本海館長と安部義孝・アクアマリンふくしま館長がアクアマリンふくしまで署名式を行う。

両館はこれまでも、ラッコなど生き物の交換を実施してきた。鈴木館長は「今回の提携で移動式水族館など機材も借りられるようになるだろう。科学館と協力することで、今までできなかったことを実施していきたい」と話している。

アクアマリンふくしまから2005年に贈られたラッコの「クータン」＝新潟市中央区のマリンピア日本海

出典：新潟日報社提供

沿線観光施設の声

○磐越道開通10周年を受けて、福島県の観光施設と提携を結びました。
○磐越道を使って、福島の観光施設と生物の交換をしています。
○県外からのお客様は、磐越道で繋がっている福島県からが最も多くなっています

出典：平成29年8月ヒアリング調査結果

福島の水族館の生き物が新潟でも見られるね！